

轍-わだち-

学校が再開して1週間が経ちました。皆さんマスク着用を努力し、クラスを分割しての授業で頑張っています。週末は、若干疲労感が顔に出ている生徒さんも多かったです。久々の授業で疲れたでしょうか？週末、身体のメンテナンスをして、来週も頑張りましょう。 文責 山下

家庭科授業でのマスク作り

家庭科の授業では布マスク作りに挑戦しています。今週は、各クラス出席番号前半の生徒がマスクを一生懸命作りました。中学校以来のミシン操作に苦労しながらも時間内に作り上げるよう真剣に取り組んでいました。

新型コロナウイルス対策で手作りマスクも沢山出回っていますが、今後は買わずに作るという選択肢も増えましたね。手縫いでもできるので、ぜひ家族にも作ってみて下さい。

また、来週は、後半の皆さん、頑張りましょう。布を未提出の人忘れずに！！



自作をする

「マスクは買うもの」と思っていたけれど、普通のマスクなら自作できる、と気づいた人もいます。

よく考えたら、マスクは昔、みんな自作していた。それが便利になって、お店で買えるようになった。

実は、「自作できる物」は多い。そして作ってみると、それがどうできているか、仕組みがわかる。

例えば、餃子を手でくるんで作ると、餃子の仕組みがわかる。すると、餃子を身近なものと感じるようになる。

ようするに、自作をすると、自信がつく。

しかし、自作をしていると、こう言われたりする。「お前、めんどくさい奴だな。そんなの買えばいいじゃん」と。

でも、それはもしかしたら、古い世界。未来は「自作するのが最強」の世界かも、しれない。

上記のエッセーは、家庭科の授業でも紹介しましたが、シンガーソングライターの小沢健二さんが5月8日に放送された音楽番組「Mステ」で朗読されたものです。現在の自粛生活の中で気づいた、今伝えたい思いがつつられています。

このエッセーを聴いたとき、「そうだなあ」と思い、これを皆さんと共有したいと思いました。私は、コロナによる自粛生活だけではなく、現代の我々の生活とも照らし合わせてみました。お金を出せば何でも手に入る時代、便利さ優先の生活の中で古くから伝えられた技術や製法がだんだんと人の手から失われています。もしかすると皆さんの世代は、「それって作れたの？」と思うものも多いかもかもしれません。あるいは、「ばあちゃんなら作っているけど」ということもあるかもしれません。

これを機会に自分で作るということに挑戦してみるのもいいかもしれません。そして、そうすることで、物への理解が深まりますし、知識や技術が付き、小沢さんが言うように自分自身に自信を持つことにつながるかもしれませんね。自信までいかにくとも知っていること、できることが増えることで生活が豊かになると思います。また、この日向工業高校は物作りの学校です。専門の方でも力をつけられるよう学校での学びに積極的に取り組んでいきましょう。期待しています。

つけて欲しい力

高校生活を通してつけて欲しい力は色々あります。その中でも特に「自分を客観的にみる力」をつけて欲しいです。ただ自分さえ良ければという視点になっていないか。自分の良い部分、悪い部分はどこか？定期的に外からみることで自分の成長、改革につなげられるものです。



2年機械科前半の皆さん



2年建築科前半の皆さん

※授業が金曜日実施のため、電気科の皆さんの写真が掲載できずすみません。

● 6月の行事予定 ●

- 6/2(火) 歯科検診…歯磨き忘れずに!!
- 6/3(水) 服頭指導…事前に準備を!!
- ※爪の長い人も多く気になります
- 6/8(月) 夏服更衣
- 6/21(日) 危険物取扱者試験
- 6/24(水) 生徒総会

資格試験等は、今年度は実施日などに大きな変更がある場合があります。担当の先生に確認してチャンスを逃さないようにしましょう。

期末考査は、7月6日(月)～10日(金)です。日々の授業を大事にしましょう。